

M A Y U Z U M I T O S H I R O P E R F O R

世界が絶賛した
日本のこころ



森 敏 郎

ベルリンで生まれ、
日本で結実した三島文学の美。

歌劇「金閣寺」 全3幕・ドイツ語上演・字幕付き

1999年12月5日(日) 14時開演

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール

主催 財団法人びわ湖ホール
原作 三島由紀夫 / 作曲 黛敏郎 / 台本 クラウス・日・ヘンネベルグ
指揮 岩城宏之 / 演出 栗山昌良 / 制作 日下部吉彦

17人の大群舞！

歌劇「金閣寺」全3幕・ドイツ語上演・字幕付き

1999年12月5日(日) 14時開演 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール

主催●財団法人びわ湖ホール 原作●三島由紀夫 作曲●黛 敏郎 台本●クラウス・H・ヘンネベルグ
指揮●岩城宏之 演出●栗山昌良 制作●日下部吉彦

歌劇「金閣寺」は、若い学僧の放火により焼失した金閣寺の事件に取材した三島由紀夫の小説を原作として、わが国を代表する作曲家 黛 敏郎がベルリン・ドイツ・オペラの委嘱を受け作曲したものです。1976年ベルリンで初演、'91年日本初演、一昨年11月には、大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス制作、岩城宏之の指揮、栗山昌良の演出で上演。「日本のオペラを再認識させる秀逸の上演」として大きな反響を呼び、ABC国際音楽賞を受賞しました。主役の複雑な心理と三島美学が微妙に絡んだ台本、黛 敏郎の一瞬たりとも緩みない音楽。困難な作品でありながら、音楽、演出などあらゆる面から見て極めて高い完成度を示した舞台は、これまで誰も知らなかったであろうこのオペラの真価を初めて開示したとさえ言われています。その再演となる今回の公演では、より深みを増した素晴らしい舞台が期待できそうです。同じく黛 敏郎音楽によるバレエ「ザ・カブキ」と併せてご鑑賞ください。



あらすじ — 亡父の友人、金閣寺の道詮和尚に預けられた溝口少年は、金閣の美に魅せられるのだが、その魔力にしだいに心縛られていく。溝口が育ったのは舞鶴の片田舎の寺だった。第2次大戦の最中、近くに住んでいた若い女・有為子が愛する脱走兵をかくまって心中した。南禅寺で偶然見かけた美しい生け花師匠に有為子のイメージが重なる。戦後、友人の下宿で偶然その師匠にめぐり会う。二人が抱き合う瞬間、溝口の心の中に金閣が燦然と輝き、すべての力を奪い去る。「自由になるためには金閣を焼かねばならない」——溝口はガソリン缶と麻くずを手にお寺に向かい、歩み始めた。



岩城宏之

東京芸術大学音楽学部打楽器科に学び、'56年N響臨時演奏会で指揮デビュー。'60年にN響と世界一周演奏旅行を行い、海外でも一躍注目を集めた。以来N響との演奏は百回を超え、'69年終身正指揮者の称号を受ける。ベルリン・フィル、ウィーン・フィルなど欧米の一流オーケストラを指揮し、国際的に活躍。'87年メルボルン響の終身桂冠指揮者の称号を受ける。'91年に「金閣寺」日本初演を指揮。中島健蔵音楽賞、サントリー音楽賞、紫綬褒章、放送文化賞など多数受賞。



栗山昌良

1950年俳優座演劇研究員となり、千田是也たちに師事。'52年二期会オペラ初演以来、古典、現代・創作、と数多くのオペラを演出、日本のオペラ界に演劇性を盛り込むなど独自の様式を打ち立てた。'69年畑中良輔たちと東京室内歌劇場を設立、室内オペラ上演に大きな影響を与える。演劇の分野でも、三島由紀夫、ギリシャ悲劇作品等を演出。芸術選奨文部大臣賞、ウィナー・ワールド・オペラ大賞、ジロー・オペラ大賞、紫綬褒章など多数受賞。新国立劇場オペラ研修所特別主任講師。



バリトン 井原秀人 [清口] バリトン 油井宏隆 [父] ソプラノ 西垣千賀子 [母] テノール 清水光彦 [若い男] バス 松下雅人 [道詮(どうせん)] バリトン 安川佳秀 [鶴川] ソプラノ 坂井美樹 [女] テノール 西垣俊朗 [柏木] メゾ・ソプラノ 星野隆子 [道婦] メゾ・ソプラノ 児玉祐子 [有為子(ういこ)]

合唱=オペラハウス合唱団/管弦楽=オペラハウス管弦楽団

スタッフ=美術…影山 宏/照明…原中治美/衣裳コーディネート…仲村 肇、村上まさあき/舞台監督…牧野 優(財)びわ湖ホール

●入場料=S席10,000円/A席9,000円/B席7,000円/C席5,000円/D席3,000円

●チケット取扱いはびわ湖ホール TEL.077-523-7136/チケットぴあ TEL.06-6363-9999/チケットセゾン TEL.06-6232-9090/京都音協プレイガイド TEL.075-211-0261

●チケット発売開始6月26日(土) ●友の会優先発売開始6月23日(水)

※いずれも全席指定 ※6歳未満のお子様はご入場になれません。※諸事情により、出演者が変更になる場合があります。●お問い合わせ=びわ湖ホール TEL.077-523-7136

世界が絶賛した日本のこころ

黛 敏郎

【舞台の世界】

東京バレエ団 THE KABUKI「ザ・カブキ」バレエ版忠臣蔵

1999年12月10日(金) 18時30分開演 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール

主催●財団法人びわ湖ホール 協賛●社団法人滋賀県建設業協会
音楽●黛 敏郎 振付●モーリス・ベジャール 美術●ヌーノ・コレテ=リアル 総監督●佐々木忠次 芸術監督●溝下司朗

現代バレエ界の“鬼才”モーリス・ベジャールが歌舞伎「仮名手本忠臣蔵」に想を得て創作したのが、この「ザ・カブキ」です。日本が生んだ世界的作曲家・黛 敏郎に音楽を委嘱し、バレエに歌舞伎の手法を持ち込んだ斬新な作品は、1986年の初演以来、上演回数は通算100回を超え、海外公演だけでも13カ国25都市で延べ89回。パリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座をはじめ、ボリショイ劇場、マリンスキー劇場など世界の名だたる歌劇場で大絶賛を博し、世界中の観客に多くの衝撃と感動を与えてきました。最大の見どころは、東京バレエ団の男性舞踊手たちによる“討ち入り”のダイナミックな大群舞。また、四十七士の“切腹”のラスト・シーンでは、黛の代表作「涅槃交響曲」の最終楽章が荘厳に響きわたります。黛 敏郎とベジャール、天才二人の魂の交歓から生まれた奇蹟の傑作「ザ・カブキ」が、観る者を深い感動に包みます。



モーリス・ベジャール Maurice Béjart

1927年マルセイユ生まれ、父は哲学者ガストン・ベルジェ。パリでダンサーとしてのキャリアを積み、'49年、ストックホルムのクルベリ・バレエ団の委嘱による振付けをきっかけに、舞踊言語の可能性を見出す。以後バレエの枠を超えた作品群を精力的に制作し、時間や空間を超越した人間の根源的な意識や概念を表現、バレエを“20世紀の芸術”として確立した。'60年、20世紀バレエ団を設立。さまざまな文化、芸術への深い理解によって独自の世界を切り拓いている。

あらすじ — 幕があくと現代の東京。ひとりの青年が古いひとりの刀を手にとると、《忠臣蔵》の世界にタイムスリップする。鶴ヶ岡八幡宮での(兜改め)から(殿中松の間)での刃傷事件へと進むうち、青年は自分がタイムスリップしたことに気づき始める。そして(判官切腹)の瞬間、青年の人格は《忠臣蔵》の主人公である四十七士のリーダー“由良之助”と重なり合う。仇討ちを誓う(血の連判状)、(山崎街道)での悲劇、歌舞伎でお馴染みの(祇園一力茶屋)、顔世御前と由良之助の(雪の別れ)を経て、一気に仇討本懐を遂げる壮大な終幕へとドラマティックに高揚していく。

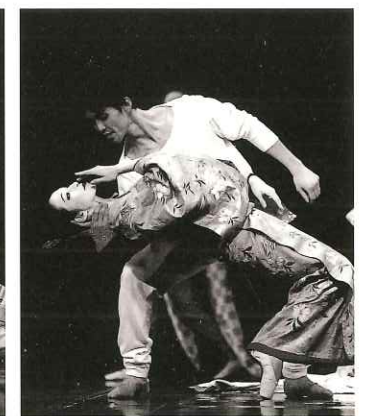
チャイコフスキー記念東京バレエ団

東京バレエ団は、1964年に創設、'66年には当時のソビエト政府に招かれ、モスクワ、レニングラードで公演を行った。この成功によりソビエト文化省より“チャイコフスキー記念”の名称を贈られた。レパートリーは古典の全幕作品から現代の名作まで幅広い。なかでも現代バレエ界を代表する三大振付家——モーリス・ベジャール、イリ・キリアン、ジョン・ノイマイヤーが東京バレエ団のために新作を振付けていることは特筆に値する。これまでに、日本の舞台芸術史上始まって以来の18次609回を数える海外公演を行っており、“日本の生んだ世界のバレエ”として国内外で高く評価されている。とくにパリ・



高岸直樹 [由良之助] 吉岡美佳 [顔世御前]

オペラ座、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラなどヨーロッパの名だたる歌劇場に数多く出演し各地で絶賛を博した。また、旧ソ連の三大歌劇場(ボリショイ、マリンスキー、ショフチェンコ)における公演では、“謙虚に東京バレエ団に学ぶべきだ”と高い賛辞を獲得した。



●入場料=S席8,000円/A席7,000円/B席6,000円/C席5,000円/D席3,000円

●チケット取扱いはびわ湖ホール TEL.077-523-7136/チケットぴあ TEL.06-6363-9999/チケットセゾン TEL.06-6232-9090/京都音協プレイガイド TEL.075-211-0261

●チケット発売開始6月27日(日) ●友の会優先発売開始6月24日(木)

※いずれも全席指定 ※6歳未満のお子様はご入場になれません。※諸事情により、出演者が変更になる場合があります。●お問い合わせ=びわ湖ホール TEL.077-523-7136

(社)滋賀県建設業協会は創立50周年を記念して、びわ湖ホール自主事業・東京バレエ団『ザ・カブキ』公演に協賛し、心の豊かさが求められるこれからの時代に向けて、より多くの方々に舞台芸術に親しんでいただける場を提供します。

建設業は国民総生産の15.7パーセントを生み出し、全産業雇用者の約1割にあたる労働者に働く場を提供するなど、我が国の経済・雇用を支える基幹産業として重要な役割を果たしています。
(平成10年度 滋賀県建設雇用改善推進大会) 滋賀県知事主催者挨拶より



滋賀県の県土基盤づくりに歩みつけて50年
創立50周年
社団法人 滋賀県建設業協会

〒520-0801 大津市におの浜1丁目1番18号 TEL.077-522-3232 FAX.077-522-7743

黛 敏郎——と聞けばテレビ番組の「題名のない音楽会」を連想する方はとても多いと思います。1964年以来、企画・構成・司会を務めたこの番組では、お茶の間にさまざまなクラシック音楽を楽しく紹介。ダンディーなスタイルと巧みな話術で多くの人に親しまれていましたが、'97年4月10日、68歳で惜しくも他界されました。

'51年楽壇にデビューした当時から、斬新な作風で社会的関心を集めた黛氏は、ヨーロッパのアバンギャルドの音楽と技法を我が国に紹介するなど、作曲界の「世界への窓」として重要な役割を果たすと同時に、常に先駆者として新しい表現に取り組みました。日本で初めて自然音などを素材にテープで録音したミュージック・コンクレート作品「X・Y・Z」('53年)や「電子音楽・習作I」('55年)、中でも「7つのヴァリエーション」('56年)は日本における電子音楽の初期代表作品として知られています。やがて、その作風は前衛性と日本人の伝統に根差したものととの融合に向かい、尾高賞を受けた「涅槃交響曲」('58年)、「BUGAKU(舞楽)」('62年)の2作品と、創作雅楽「昭和天平楽」('70年)に結実します。

雅楽、能、浄瑠璃、歌舞伎——「和」の響きで織り成す、黛 敏郎音楽の世界は、海外で特に高い評価を得ており、ベルリン・ドイツ・オペラの委嘱による「金閣寺」と、ベジャールのためのバレエ「ザ・カブキ」は、とりわけ人気の作品です。また、ニューヨーク・シティ・バレエ団の委嘱により作曲した「BUGAKU(舞楽)」は、モーリス・ベジャール振付の同題の作品にも使用されています。'96年5月には、オーストリアで新作オペラ「古事記」を初演。この春ミラノ・スカラ座で上演された「ザ・カブキ」では、「黛 敏郎の音楽はバリの前衛的雰囲気を持った魅力にあふれ、機能的で伝統的な日本の音楽の挿入も武道的、扇情的シーンにほどよく使用されていた」と高評を得ました。

日本を代表する作曲家として実験的な手法を次々と試み、周囲を驚かせ、後に続く者を勇気づけてきた 黛 敏郎。独自の感性で西洋と東洋を見事に融合させた舞台の世界を、今回の2公演でご満喫ください。



略歴 ●1929年横浜に生まれる ●'49年東京音楽学校(現東京芸大)卒 ●'52年パリ音楽院作曲科中退 ●'53年團 伊玖磨、芥川也寸志と「三人の会」結成 ●'55年日本初の電子音楽を制作 ●'57年20世紀音楽研究所創立 ●'58年「涅槃交響曲」発表/尾高賞受賞 ●'62年「BUGAKU(舞楽)」発表/尾高賞受賞 ●'64年テレビ番組「題名のない音楽会」の司会を務める(以後1500回を超える長寿番組となる) ●'65年ブルーボン賞音楽賞受賞 ●'70年創作雅楽「昭和天平楽」発表 ●'71年菊池寛賞受賞 ●'75年仏教伝道文化賞受賞 ●'76年「金閣寺」作曲 ●'86年「ザ・カブキ」発表/紫綬褒章受章 ●'94年日本音楽著作権協会会長就任 ●'97年4月10日死去 享年68歳

主要作品・著作 ●歌劇「金閣寺」1976/「古事記」1996 ●オラトリオ「日蓮上人」 ●ミュージカル「可愛い女」1959 ●管弦楽曲「響宴」1954/「エクストラム」1954/「フォノロジー・サンフォニック」1957/「涅槃交響曲」1958/「曼陀羅交響曲」1960/「舞楽」1962 ●交響詩「輪廻Samsara」1962/交響詩「立山」1971(記録映画のための音楽) ●「打楽器と管楽のための協奏曲」1965 ●室内楽曲「10楽器のためのディヴェルティメント」1948/「プリバード・ピアノと管弦四重奏のための小品」1957/「阿吽」1958 ●雅楽「昭和天平楽」1970 ●合唱曲「天台声明による始段唄・散華」1969 ●映画音楽「炎上」(市川崑監督)/「にあんちゃん」(今村昌平監督)/「キューボラのある街」(浦山桐郎監督)など ●著書として「私の茶道入門」、「題名のない音楽会」、「題名のない独白」など

岩城宏之が語る 歌劇「金閣寺」

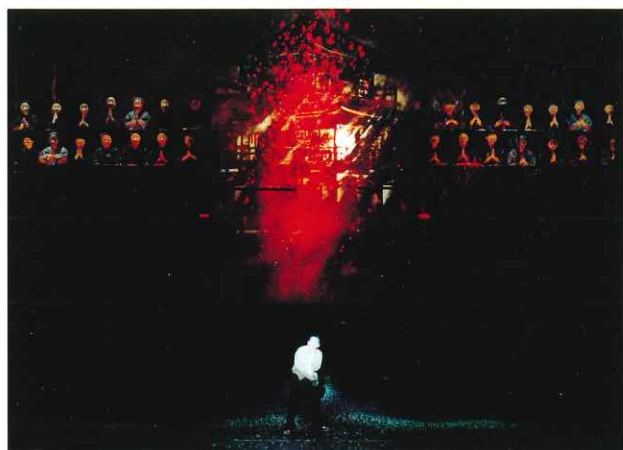
オーケストラと合唱の部分は、黛さんの音楽の極地であるのが少しばかり歌手たちには気の毒な作曲であると思っていた。つまり、オーケストラと合唱にオイシイところが沢山あるのに、ソリストたちには苦痛が多いのではないかと同情していたのだ。これは全くぼくの思い違いだった。今回の歌手たちの能力と努力がぼくを開眼してくれたのである。栗山演出の力が、ドイツ人から見たところどころ不可解な三島の世界を、見事に解明してくれたのである。台本の素晴らしさにも目を開くことができた。

——歌劇「金閣寺」関西初演時('97年11月)のプログラムより抜粋

ベジャールと「ザ・カブキ」の音楽 黛 敏郎

ベジャールの「忠臣蔵」は、歌舞伎の原作の現代的、合理的、象徴的パラフレーズであり、単なる「バレエ化」の次元をはるかに超えたものとなった。それは、記者会見で彼が云った「シェークスピアの『ロメオとジュリエット』がいろいろな国のいろいろな芸術家たちによって劇化、オペラ化、バレエ化されているように、歌舞伎のすぐれた作品にもそれが可能であって、自分の『ザ・カブキ』もそうした意味から捉えて欲しい」という自信を、見事に裏付けて余りあるものであり、「忠臣蔵」という名作を自分達の文化的財産として持つわれわれに、大きな示唆と可能性を与えてくれたものとして、心から感謝したい気持ちで一杯だ。

——「ザ・カブキ」初演時('86年4月)のプログラムより抜粋



歌劇「金閣寺」



「ザ・カブキ」

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール

BIWAKO HALL CENTER FOR THE PERFORMING ARTS, SHIGA
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号 TEL.077-523-7133(代) <http://www.biwako-hall.or.jp/>

【びわ湖ホール友の会】会員募集中!

チケットの優先購入、情報誌、公演チケット情報の定期送付など、特典をいっぱいご用意しました。

- 年会費=2,312円(クレジットカード年会費1,312円を含む)
- お問い合わせ・お申し込み=財団法人びわ湖ホール事業部 広報営業課 TEL.077-523-7137

びわ湖ホール交通のご案内

- 京都から9分、大阪から39分、名古屋から60分(JR利用・大津駅着)
- JR大津駅前よりバス約5分(びわ湖ホール下車)
- JR琵琶湖線「大津」駅、「膳所」駅より徒歩約15分
- 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分
- 名神高速大津ICより約5分(びわ湖ホール駐車場854台・有料)

